

第3回岐阜県学童軟式野球五年生大会実施要項

～第10回スパークテックWKS杯学童野球大会～

- 1 主 催 一般社団法人岐阜県軟式野球連盟
株式会社日特スパークテックWKS
岐阜新聞社 岐阜放送
- 2 主 管 (一社)岐阜県軟式野球連盟 中濃ブロック 可児市軟式野球連盟
- 3 後 援 岐阜県教育委員会
可児市、可児市教育委員会、美濃加茂市、美濃加茂市教育委員会
八百津町、八百津町教育委員会、御嵩町、御嵩町教育委員会
公益財団法人可児市体育連盟、可児市スポーツ少年団
マルエス株式会社、株式会社共同写真企画
- 4 会 期 令和7年10月26日(日)、11月1日(土)、2日(日)、8日(土)
11月9日(日)、22日(土) 予備日 11月23日(日)
- 5 会 場 (A) カヤバスタジアム (可児市)
(B) 前平総合運動場 (美濃加茂市)
(C) 蘇水公園野球場 (加茂郡八百津町)
(D) 南山公園野球場 (可児郡御嵩町)
(E) 下米田グラウンド (美濃加茂市)
(F) 広見市民グラウンド (可児市)
- 6 出場資格 各支部の推薦等による小学五年生チーム。(五年生以下の学年混合チームの場合は、四年生以下の登録を認める。ただし、支部選抜チームの出場は認めない。選手登録は、10名以上25名以内とする。)
- 7 チーム数 27支部各1、女子選抜1、開催地12の合計40チーム
- 8 申込方法 原則、電子メールで申し込むこと。詳細は別紙を参照のこと。
- 9 申込締切 令和7年9月24日(水)【必着】
- 10 適用規則 2024年度公認野球規則並びに競技者必携及び大会規則を適用する。
- 11 使用球 (公財)全日本軟式野球連盟公認 マルエスJ号ボール(主催者で準備)
- 12 開会式 令和7年10月26日(日)8時30分 カヤバスタジアム
※天候不順の場合は、可児青少年育成センター(錬成館)2階 剣道場
開会式会場にて午前7時から受付開始、午前8時までに受付すること。
- 13 受 付 開会式会場にて午前7時から受付開始、午前8時までに受付すること。
- 14 参加料 1チーム15,000円(開会式会場の受付にて納入すること。)
- 15 表 彰 岐阜県軟式野球連盟表彰 【優勝】賞状・優勝旗・楯
【準優勝】賞状・楯
日特スパークテックWKS表彰 【優勝】賞状・優勝旗・金メダル
【準優勝】賞状・銀メダル
岐阜新聞社表彰 【優勝】賞状・楯
【準優勝】賞状・楯
※両優勝旗とも持ち回りとする。
- 16 注意事項 参加者はスポーツ保険またはこれに代わる保険に加入すること。大会中の怪我は主催者が応急処理のみを行うがその責任は負わない。
- 17 選手宣誓 開催地区代表チームの主将が行う。

大会規則

1. 本大会は、本年度公認野球規則、(公財)全日本軟式野球連盟競技者必携を適用する。ただし、本大会のため、特別に定めた事項は除く。
2. 全試合を通じて、盗塁を禁止とする。禁止にもかかわらず盗塁を企てた場合、当該選手が盗塁前に占有していた塁に戻すこととする。(審判はボールデットを宣言する。)
3. イニング数及び試合時間は、6回又は1時間30分とし、同点の場合は即タイブレーク方式とする。勝敗が決するまで行う。決勝戦も同様とする。
4. タイブレーク方式は、継続打順とし、前回の最終打者を1塁走者、その前の打者を2塁の走者とする。すなわち無死1塁、2塁の状態で行う。
5. 指名打者ルールを使用することができる。ただし、大谷ルールは適用しない。
6. 投手の肘、肩の障がい考慮し、大会中一日の投球数は70球(4年生以下は60球)までとし、打撃中に到達した場合は、その打者が打撃を完了するまでとする。
7. コールドゲームは、一回戦から四回戦の試合は、3回終了後10点差及び4回終了後7点差が生じた場合に適用する。準決勝戦、決勝戦は4回終了後10点差および5回終了後7点差とする。
8. 日没、降雨等のため5回終了以後試合が継続できなかった場合は、コールドゲームとする。5回終了以前に中止となったとき、あるいは、5回終了以後同点で中止となったときは、翌日の第1試合の前に特別継続試合(競技者必携42項の4及び7参照)を行う。ただし、一回戦から四回戦までは4回終了時点で適用する。なお、決勝戦は再試合とする。
9. 雨天等のため球場コンディションが不良の場合及び試合が著しく遅延している場合は、大会役員が協議してイニング数の短縮や球場を変更することがある。
10. 雨天等でその日のゲームが実施できない場合、原則順延とする。なお、大会の順延は、大会委員長、大会役員が協議して決定する。
11. ゲームをナイターで行う場合、試合終了時刻は20時とし、19時30分を超えて新しいイニングに入らない。
12. ユニフォームについて、合同チームとして出場する場合、ユニフォームは不揃いでも良い。ただし、背番号は重複しないこと。
13. スパイクについて、金属製のスパイクは使用を禁止する。
14. ベンチに入れる人員は、登録された監督、コーチ(2名)、選手(25名以内)及び、チーム代表、マネージャー、スコアラー並びに、熱中症対策としてのビブス着用保護者(2名)とする。

競技運営に関する注意事項及び禁止事項

1. 各チーム責任者(監督)は会場に到着したらその旨を会場本部へ報告する。
2. ベンチの使用は組み合わせ番号の若番が1塁側を使用する。
3. 監督と主将は、その日の第一試合は試合開始予定時刻の30分前、第二試合以降は前の試合の3回裏終了時に大会本部に提出する。その際に攻守を決定する。
4. ブルペンには、攻守決定後、試合中のチームの承諾を得て先発のバッテリーは使用できる。
5. シートノック時のボール渡しの選手はヘルメットを着帽のこと。監督、コーチが行う場合も同様に着帽すること。
6. 球場内では打者、次打者以外の選手の素振りは厳禁とする。
7. 相手チームや審判員に対する聞き苦しい野次は厳禁とする。また、スタンドからの応援団の野次、目に余る行為はチームの責任とする。
8. メガホンは監督に限りベンチ内で1個使用できる。
9. 守備の時間が長い場合には健康維持を考慮し、審判員の判断で給水タイムを設ける。(ロスタイムとして処理)
10. 太鼓、笛、メガホン、ペットボトル等の鳴り物による応援は、全会場とも使用禁止とする。
11. グラウンド整備は、次の試合のシートノック終了後、試合を終えた両チームの選手で行う。

上記未記載事項等については野球規則、競技者必携、岐阜県軟式野球連盟取り決め事項にて行う。